
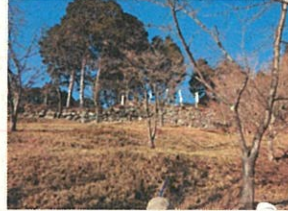










① 事業実施報告書詳細

学校名 可児市立兼山小学校

時間数	場所	概要	活動記録 (写真)	対象者の反応
1	教室	1 「兼山学」についてのオリエンテーションを行う。 ・兼山学の学習の概要をつかむ。 ・おまもりたいの方を紹介する。		・今までなんとなく知っていた場所のことを詳しく知りたいと思った。
1	古城山	2 国史美濃金山城跡（古城山）を見学する。 ・金山城のつくりや概要について、おまもりたいの方の説明を受けながら、見学をする。 ・出丸 ・千本桜 ・出丸 ・二の丸 ・三の丸 ・石垣 ・天主跡 ・メモをとったり写真を撮ったりする。	 <p>出丸からみた風景</p>  <p>地区の方が植樹した千本桜</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・兼山はたくさんの人によって作られた。野面積みの石をどうやって持ってきたなど今まだわからないことがあるが、人々の努力によって、引き継がれていることがわかった。 ・千本桜を地域の方が植えた。地域の景観を考えて、協力したことがすごいと思った。
3	PC室	3 パワーポイントの作成に仕方を知る。 4 古城山で学んだことをまとめる。	 <p>野面積みの石垣</p>	
2	東方面	5 東方面を見学する。 ・戸立観音、米倉跡、氷室跡、六角堂、三階倉の概要について説明を受けながら、見学をする。	 <p>おまもりたいの方と見学の計画</p>	・壊れてしまったりなくなってしまうたりした建物などがあったので、なくさないように守っていきたいと思った。

2	PC室	6 東方面で学んだことをまとめる。	 <p>年中水が枯れることのない 甌穴がある戸立観音</p>  <p>六地藏尊が祭られている六角堂</p>	
2	西方面	7 西方面を見学する。 ・専養寺、川湊、春吉稻荷、可成寺、常照寺の概要について説明を受けながら、見学をする。	 <p>専養寺の絵天井</p>  <p>室町末期から利用されていた川湊</p>	・東方面と同じように、西方面にも歴史のある名所があった。森家の墓があり、改めて、歴史人物が兼山にもいたことを知れた。
4	PC室	9 調べたことの発表準備をする。 ・調べたことをおもしろいの方に確認しながら、パワーポイントにまとめ、原稿を作成する。		・パワーポイントでまとめるのは、写真とともに説明をしやすい、手書きでまとめるよりも修正しやすいので、便利。
2	教室	10 調べたことを発表する。 ・リハーサルをする。 ・まとめの会をする。 作成したパワーポイントを使い、発表を行う。		・兼山の良いところをインターネットやSNSで配信したい。 ・むやみに伐採したり、昔からある建物を壊したりしないようにしたい。

② 学習指導案

単元名 (全18時間)	兼山学
学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・兼山の名所旧跡を「美濃金山おまもりたい」の方とめぐり、地域の文化や歴史を調べる。 ・見学したことをまとめ、パワーポイントを用い、「美濃おまもりたい」の方にプレゼンをする。 ・活動を通して、自分たちのまちに対して愛着を持ち、まちの景観や文化を守っていくために自分たちができることを考える。
学習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーション 2 古城山（金山城跡）巡り 3 東方面巡り 4 西方面巡り 5 調べたことをまとめる 6 「美濃金山おまもりたい」の方へ発表会
参考資料 準備品 実施場所等	<ul style="list-style-type: none"> ・「国史跡 美濃金山城跡」パンフレット ・デジタルカメラ、地域の地図、探検バック、筆記用具等 ・教室、古城山、戸立観音、米倉跡、氷室跡、六角堂、三階倉、専養寺、川湊、春吉稻荷、可成寺、常照寺等

学習の流れ

時間	学習活動	教師の指導	評価
1	<ol style="list-style-type: none"> 1 兼山の歴史や史跡、景観に興味を持つ。 ・単元の課題をつくる。 ・計画を立てる。 ・おまもりたいの方との顔合わせをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・兼山の歴史や名所についてふりかえらせ、地域のよさに気づかせる。 ・おまもりたいの方にお世話になることで、より詳しく学べることを伝える。 ・調べる意欲を持たせる。 	<p><意欲> 「兼山学」の課題を設定し、見通しを持つ。</p>
3	<ol style="list-style-type: none"> 2 古城山を見学し、まとめる。 ・「古城山」「美濃金山城跡」 ・調べたことをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・美濃金山城が国史跡に認定されている価値を見学したり説明を聞いたりして、つかませる。 	<p><知識・理解><表現力></p> <ul style="list-style-type: none"> ・城跡についての歴史・景観について情報を収集する。 ・調べたことを整理してまとめ、写真と文章で表現する。
4	<ol style="list-style-type: none"> 3 東方面を見学し、まとめる。 ・「戸立観音」「六角堂」「米倉跡」「氷室跡」「三階倉」を見学する。 ・調べたことをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「戸立観音」 絵天井や観音様の歴史、甕穴のでき方 ・「六角堂」 六地蔵のいわれ ・「米倉跡」「氷室跡」「三階倉」の歴史について、詳しく知り、まとめさせる。 	<p><知識・理解><表現力></p> <ul style="list-style-type: none"> ・東方面についての歴史・景観について情報を収集する。 ・調べたことを整理してまとめ、写真と文章で表現する。

4	4 西方面を見学し、まとめる。 ・「専養寺」「川湊」「春吉稲荷」「可成寺」「常照寺」を見学する。 ・調べたことをまとめる。	・「専養寺」の絵天井 ・「川湊」の歴史 ・「春吉稲荷」のいわれ ・「可成寺」森家の墓 ・「常照寺」文化財について、詳しく知り、まとめさせる。	<知識・理解><表現力> ・西方面についての歴史・景観について情報を収集する。 ・調べたことを整理してまとめ、写真と文章で表現する。
4	5 まとめの会の準備をする。 ・発表担当を決め、発表の原稿を作る。	・調べたことをわかりやすく発表するために、パワーポイントや原稿を工夫させる。	<表現力> ・分かりやすく説明するための文章を考える。
1	6 発表のリハーサルをする。 ・発表の練習をする。	・伝えるためにふさわしい話し方ができるように練習をさせる。	<表現力> ・分かりやすく説明するための離し方を練習する。
1	7 まとめの会 ・調べたことを発表する。	・発表を聞いて、兼山の歴史 ・景観を継続させていくために自分たちでできることを考えさせる。	<思考力・判断力・表現力> ・作ったパワーポイントを使い、発表する。 ・兼山の景観の存続のために、自分たちができることを考える。

③ 実施内容について

(1) 実施にあたり工夫した点
<ul style="list-style-type: none"> ・単元構成の工夫～方面見学後のまとめる活動 最初の見学では、ただ写真を撮っていたが、その後まとめる時に、わかりやすい説明のために必要な写真の構図などについてグループで話し合った。その話し合いのもと、次の回では、構図を考えながら写真を撮る姿が見られた。同様に、見学やインタビューで必要な情報をメモすることができた。 ・安全面の確保 各グループごとに「おまもりたい」の方に講師として同行していただいた。見学に入る前に「おまもりたい」の方と児童が見学順序や行程など計画会を行ってから、見学を実施した。 ・まとめの会の設定 まとめの会では、「おまもりたい」の方に自分たちが調べたことを発表する場を設定した。目的があったので、まとめる意欲づけとなった。
(2) 実施にあたり苦労した点
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方である「おまもりたい」の方は、大変協力的で、何度も活動に参加してくださった。また、顔なじみの児童もいて、自然な関わりが持てた。反面、児童に考えさせたいことややりきらせたいことなどにも手を貸してくださった。前もっての打ち合わせを密に行う必要があると感じた。 ・地域の歴史や史跡を詳しく知ることはできた。しかし、それを継続させていくために自分たちができることを考えること、実践する意欲を持つことまでには至らなかった。
(3) 児童の反応
<ul style="list-style-type: none"> ・児童は、それぞれの史跡に歴史があることは、慣れ親しんでいる地域カルタや今まで行った地区探検で知っていたが、今回は3人グループに一人のおまもりたちの方に、詳しく説明していただいたことで、理解が深まったと感じた児童が多かった。また、発表形式をパワーポイントとしたことで、まとめるために詳しく聞いたり、まとめ方を考えたりと意欲的に進めることができた。
(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化
<ul style="list-style-type: none"> ・学級担任1名、担任外教諭1名によるTT指導で授業を行った。ほとんど地域の歴史・名所について知らなかった指導者が、見学を通して、児童とともに「おまもりたい」の方から、歴史や文化を知ることができた。今回の「景観まちづくり学習」で学んだことを他学年の地

域教材にも生かせるようにしていきたい。

- ・この学習で、「おまもりたい」の方（地域の方）と関わる機会が多く、学校と地域の連携の一環となっているので、継続していきたい。

(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕

- ・「地域景観プランナーになろう」として、自分たちのまちの特徴について調べてまとめることができたが、まちのよさを活かしていくために必要なことを考えていくことが不十分だった。来年度は、自分たちが暮らすまちの景観を守っていくために、自分たちができることを考える場を充実させたい。